

### 青森県 春季高校野球

第3日

春季青森県高校野球選手権第3日は24日、八戸市長根球場、六戸町メイプルスタジアムの2会場で開催された。昨秋の県準Vの工大一はバントを多用した攻撃で着々と加点し、木造に勝利。八学光星は中盤に打線が爆発し、工大二を下した。昨秋県Vの青森山田は終盤に底力を発揮し、弘前工にサヨナ

ラ勝ち。弘学聖愛は高木優斗の満塁弾などで東義をコールドで下した。第4日の28日は長根球場で準決勝の工大一―弘学聖愛（11・00）、八学光星―青森山田（13・30）が行われ、それぞれの勝者が春季東北大会（6月7～12日・福島県）に出場する。（取材班）

### 準々決勝

工大二 130 010 | 5  
八学光星 301 722x | 15

（6回コールド）  
（工） 櫻場、連応、上野、昆、高屋敷―種子  
（八） 洗平歩、宇田、越田―文元  
▷本塁打 中澤（八）  
▷三塁打 織笠（八）▷二塁打 連応（工）  
井坂2、文元（八）▷暴投 櫻場（工）▷捕逸 種子（工）文元（八）  
▷試合時間 2時間3分  
（球審―後藤、塁審―小松、滝田、前田）

【評】八学光星は同点で迎えた四回、井坂の走者一掃の二塁打など、打者11人で7点を奪い、突き放した。五回には中澤の右中間2ランでダメ押しした。工大二は二回に打者9人の猛攻で3点を奪うなど一時リードする場面もあったが、中盤以降は攻めあぐねた。

# 強打光星 突き放す

## 低く鋭く12安打15点 守備も課題も

八学光星が持ち前の強打で、鋭いサインを徹底と、打撃は好調を維持してつと意識させないことと奮りを存分に現せて4強入りした。12安打15点を次々と叩き出した。3安打5打点、タイアップの異なる相手5投手を完全攻略した。五回、逆方向に2点本塁打を放った中澤恒貴は「体を動かさず打った。次につながる意識の打撃ができていた」とうなずいた。チームはどんたけ手にも対応できるようにコンバク2試合で驚異の計28得点を



【工大二―八学光星】5回八学光星2死三塁、中澤恒貴（右）が右中間に2点本塁打を放ち、13―5とする＝八戸長根

ポイント